

4 月 18 日：利益確定売りに押され、VN 指数は3日続落

週明けのベトナム市場は、投資家の利益確定売りに押される形で、ホーチミン、ハノイ市場ともに軟調な値動きとなった。

ホーチミン市場の VN 指数は 1.78% 安の 1,432.60 ポイントで取引を終えた。

VN 指数は 4 月 4 日に 1,524.7 ポイントの高値で引けた後、翌日から下落基調で推移している。直近 9 営業日では合わせて 6% を超える下落となっており、これは 2021 年 7 月以来の下げ幅である。その中でも金融、不動産セクターはマーケットの下げを主導している。

VN 指数への寄与度上位 20 銘柄のうち 9 銘柄は金融、不動産セクターが占めた。銘柄にはベトナム銀行 (VCB) -3.12%、ヴィエティンバンク (CTG) -5.81%、VP バンク (VPB) -4.81%、ベトナム投資開発銀行 (BID) -3.44%、テクコムバンク (TCB) -1.64%、ビンホームズ (VHM) -1.83%、ビンググループ (VIC) -1.49%、ノバランド不動産投資グループ (NVL) -2.26% が含まれた。

さらに直近 9 営業日の VN 指数の下げ幅の 3 分の 1 以上は、ベトナム投資開発銀行、ベトナム銀行、テクコムバンク、ヴィエティンバンク、ビンホームズの下落によるものだった。

また金融セクターの銘柄で構成される VNFIN 指数は 3.23% 安、不動産セクターの銘柄で構成される VNREAL 指数は 1.88% 安で取引を終えていた。

ハノイ市場の HNX 指数は 3.26% 安の 403.12 ポイントで取引を終えた。同指数は 4 月 4 日以降およそ 14% 下げている。

ホーチミン、ハノイ市場ではこの日 755 銘柄が下落、223 銘柄が上昇した。

出来高は先週末と比べて増加した。売買高は前日比 28% 増の 9 億 3170 万株、売買代金は前日比 20% 増の 28 兆 7,000 億ドン (12 億 5,000 万米ドル) となった。

水産加工セクターの好調

その一方で水産加工セクターは堅調な動きとなり、9 銘柄が上昇、1 銘柄のみ下落した。

イギリスの海運調査会社の Drewry 社によると、米国行きの 40 フィートコンテナの輸送運賃は下落しており、2022 年初めに 40 フィートあたり 9,409 ドルだった輸送運賃は 2022 年 3 月末に

は 8,152 ドルまで下落した。このことは水産加工会社の輸送コストを抑え、利益の拡大に寄与するだろう。

この日は大引けにかけてメコン水産 (AAM) +6.9%、クーロンフィッシュ (ACL) +6.92%、ナムベト水産 (ANV) +6.96%がストップ高を付けた。またカマウ水産輸出入加工会社 (CMX) +6.45%、国際投資開発 (IDI) +5.97%もそれぞれ大きく買われた。

多くのアナリストは、VN 指数は今年 2 月以降 1,440~1,500 ポイントでの横ばいの動きが続いており、もし下値支持線が 1,440 ポイントを割り込むことがなければ、短期的に VN 指数は 1,440~1,500 ポイントでの動きが続くとしている。

現状を踏まえると、来週すぐに高値を奪還するのは難しく、反対に下値を探る可能性がある。その際に投資家から安値拾いの動きが多く見られるのであれば、流動性が高まり、マーケットは再び上昇するだろう。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。